

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種120社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2021年10月から12月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】2021年10月～12月

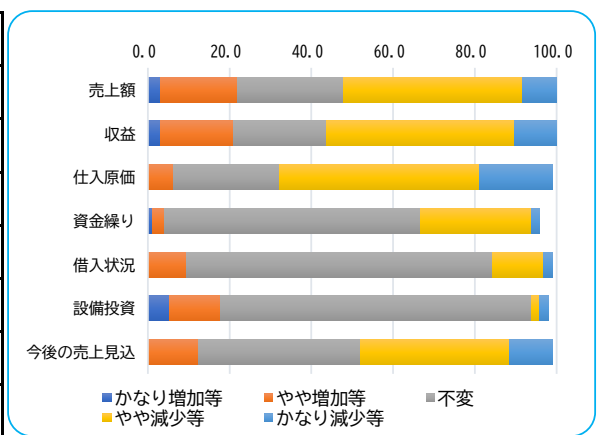
【調査方法】建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計120社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数96社、回答率80.0%)

【DI値の算出方法】①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、
(①+②) / 全体数 × 100 - (④+⑤) / 全体数 × 100でDI値を算出する。

※選択肢の目安：「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

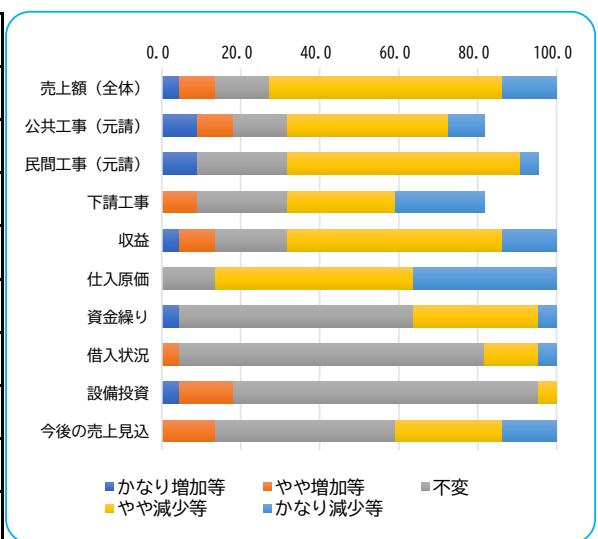
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	3	18	25	42	8	減少	▲17.7
収益	増加	3	17	22	44	10	減少	▲21.4
仕入原価	低下	0	6	25	47	17	上昇	▲39.5
資金繰り	好転	1	3	60	26	2	悪化	▲13.6
借入状況	減少	0	9	72	12	2	増加	▲3.7
設備投資	増加	5	12	73	2	2	減少	8.5
今後の売上見込	増加	0	12	38	35	10	減少	▲22.6



2021年10月から12月におけるDI値は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言解除等の影響により売上額、収益については、前年同期と比較してほとんどの業種で回復傾向にあるものの、依然厳しい状況が続いている。中でも建設業の売上額と収益は前年同期と比較して夫々5.5ポイント、5.6ポイント悪化しており、かなり減少と回答した企業には50%減少と回答した企業もあった。仕入原価については前年同期と比較して25.5ポイント悪化しており、64社がやや上昇、かなり上昇と回答しているほか、現在直面している経営上の問題点でも仕入価格の上昇をあげる企業が58社あった。今後の売上見込については、前年同期と比較して32.2ポイント改善しているものの、前回調査と比較すると2.7ポイント悪化しており、建設業は▲20.5ポイント、卸売業は▲30.6ポイントと依然厳しい状況が予想される。

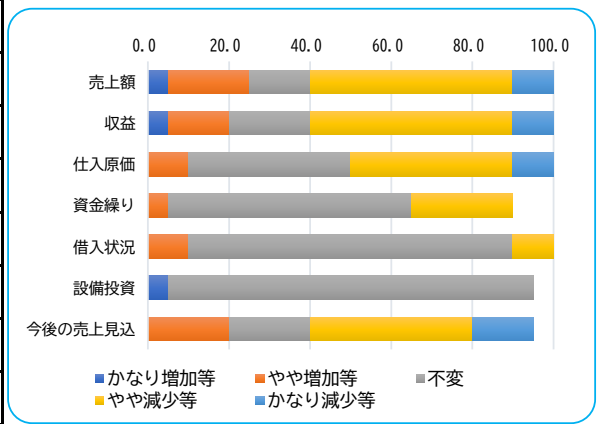
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	1	2	3	13	3	減少	▲34.1
公共工事(元請)	増加	2	2	3	9	2	減少	▲19.4
民間工事(元請)	増加	2	0	5	13	1	減少	▲26.2
下請工事	増加	0	2	5	6	5	減少	▲38.9
収益	増加	1	2	4	12	3	減少	▲31.8
仕入原価	低下	0	0	3	11	8	上昇	▲61.4
資金繰り	好転	1	0	13	7	1	悪化	▲15.9
借入状況	減少	0	1	17	3	1	増加	▲9.1
設備投資	増加	1	3	17	1	0	減少	9.1
今後の売上見込	増加	0	3	10	6	3	減少	▲20.5



* 公共工事なし4件、民間工事なし1件、下請工事なし4件

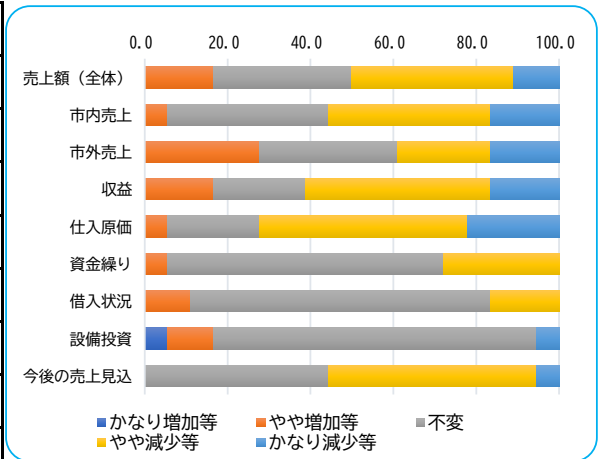
建設業のDI値は、全体の売上額、元請工事の公共工事は前回調査時(7月から9月)と比較し、夫々4.1ポイント、30.6ポイント改善しているが、元請工事の民間工事、下請工事、収益は悪化している。特に下請工事は28.9ポイント悪化しており、かなり減少の回答の中には90%減少と回答した企業もあった。また仕入原価が前回調査と比較し17.3ポイント悪化していることから、依然厳しい状況がうかがえる。今後の売上見込についても前回調査の▲17.6ポイントと比較して2.9ポイント悪化している。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	1	4	3	10	2	減少	▲ 20.0
収益	増加	1	3	4	10	2	減少	▲ 22.5
仕入原価	低下	0	2	8	8	2	上昇	▲ 25.0
資金繰り	好転	0	1	12	5	0	悪化	▲ 11.1
借入状況	減少	0	2	16	2	0	増加	0.0
設備投資	増加	1	0	18	0	0	減少	5.3
今後の売上見込	増加	0	4	4	8	3	減少	▲ 26.3



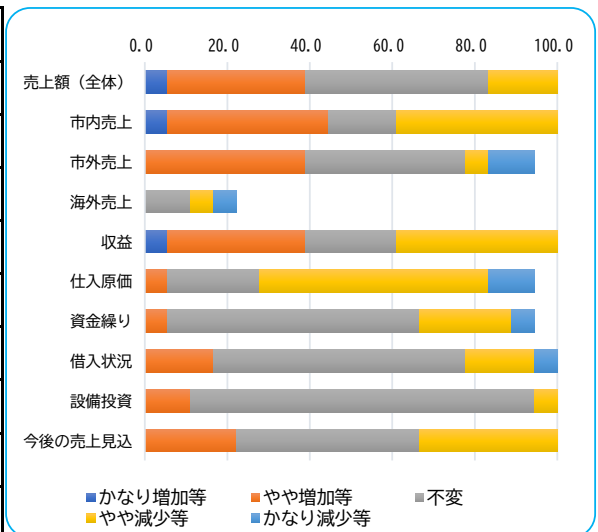
小売業のDI値は、前回調査時（7月から9月）より売上額、収益、今後の売上見込が夫々37.9ポイント、32.8ポイント、10.5ポイント改善している。しかしながら、仕入原価は前回調査の▲21.1ポイントと比較して3.9ポイント悪化している。また、借入状況については前回調査より13.2ポイント減少している。
 ＊最近の売れ筋傾向等：免疫力UP商品。高齢者の巣ごもり消費が一段落してしまった。建築価格の上昇に伴い家具・カーテンにかけられる予算が大きく減少（30代～50代の現役世代）。SDG's、国産回帰に興味を示すものの予算が合わない。京都の小売応援金券の発行などによる支援。

卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額（全体）	増加	0	3	6	7	2	減少	▲ 22.2
市内売上	増加	0	1	7	7	3	減少	▲ 33.3
市外売上	増加	0	5	6	4	3	減少	▲ 13.9
収益	増加	0	3	4	8	3	減少	▲ 30.6
仕入原価	低下	0	1	4	9	4	上昇	▲ 44.4
資金繰り	好転	0	1	12	5	0	悪化	▲ 11.1
借入状況	減少	0	2	13	3	0	増加	▲ 2.8
設備投資	増加	1	2	14	0	1	減少	5.6
今後の売上見込	増加	0	0	8	9	1	減少	▲ 30.6



卸売業のDI値は、売上額（全体）が▲22.2ポイントと前回調査時（7月から9月）の▲28.6ポイントと比較し6.4ポイント改善しており、市内・市外売上、収益についても夫々6ポイント、9.2ポイント、5.1ポイント改善している。しかしながら、仕入原価については、▲44.4ポイントと前回調査から8.7ポイント悪化している。また、今後の売上見込については▲30.6ポイントと前回調査より悪化しており、やや減少、かなり減少と回答した企業が半数となっている。

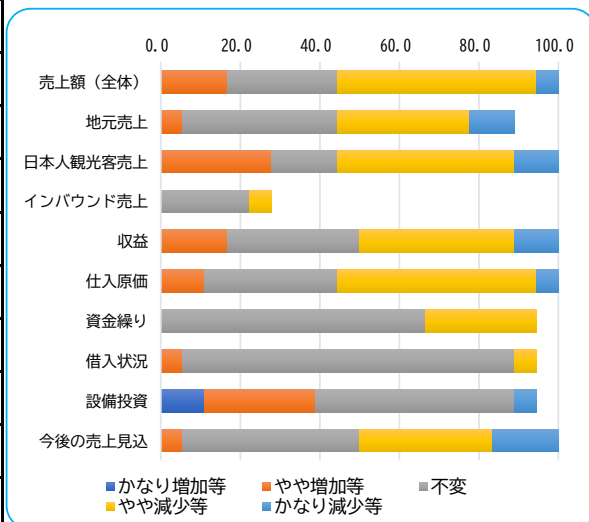
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額（全体）	増加	1	6	8	3	0	減少	13.9
市内売上	増加	1	7	3	7	0	減少	5.6
市外売上	増加	0	7	7	1	2	減少	5.9
海外売上	増加	0	0	2	1	1	減少	▲ 37.5
収益	増加	1	6	4	7	0	減少	2.8
仕入原価	低下	0	1	4	10	2	上昇	▲ 38.2
資金繰り	好転	0	1	11	4	1	悪化	▲ 14.7
借入状況	減少	0	3	11	3	1	増加	▲ 5.6
設備投資	増加	0	2	15	1	0	減少	2.8
今後の売上見込	増加	0	4	8	6	0	減少	▲ 5.6



*市外売上なし1件、海外売上なし14件

製造業のDI値は、売上額（全体）が13.9ポイントと前回調査時（7月から9月）の▲26.5から改善している。また、市内売上、市外売上も夫々5.6ポイント、5.9ポイントと改善し、収益も2.8ポイントと前回調査の▲17.6ポイントから改善がみられるが、仕入原価は前回調査の▲35.3ポイントから2.9ポイント悪化している。借入状況、今後の売上見込については前回調査から夫々6.2ポイント、3.2ポイント改善している。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額（全体）	増加	0	3	5	9	1	減少	▲ 22.2
地元売上	増加	0	1	7	6	2	減少	▲ 28.1
日本人観光客売上	増加	0	5	3	8	2	減少	▲ 19.4
インバウンド売上	増加	0	0	4	1	0	減少	▲ 10.0
収益	増加	0	3	6	7	2	減少	▲ 22.2
仕入原価	低下	0	2	6	9	1	上昇	▲ 25.0
資金繰り	好転	0	0	12	5	0	悪化	▲ 14.7
借入状況	減少	0	1	15	1	0	増加	0.0
設備投資	増加	2	5	9	0	1	減少	20.6
今後の売上見込	増加	0	1	8	6	3	減少	▲ 30.6



* 地元売上なし2件、インバウンド売上なし13件

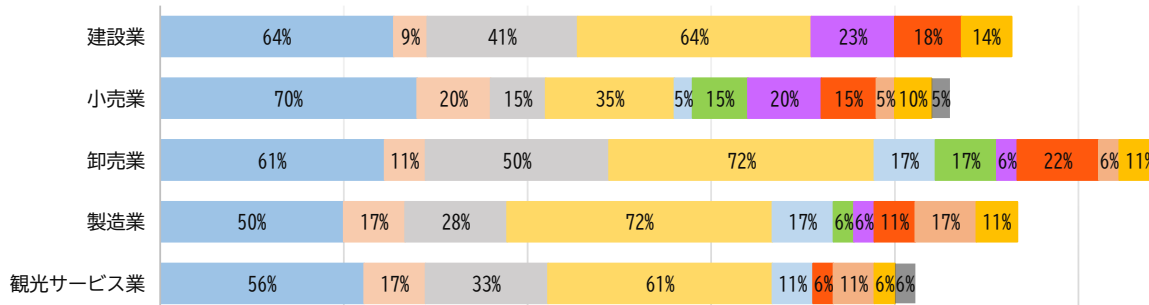
観光サービス業のDI値は、前回調査時（7月から9月）と比較し、売上額（全体）が49.7ポイント、地元売上が26.4ポイント、日本人観光客売上が44.9ポイント、収益が46.6ポイントと夫々改善しているが、仕入原価は15.6ポイント悪化している。今後の売上見込については、0.7ポイントの改善がみられるにとどまり、9社がやや減少、かなり減少と回答するなど引き続き新型コロナウイルス感染症による影響を危惧される企業が多いことがうかがえる。

問2 現在直面している経営上の問題点（新型コロナウイルス感染症含む）についてお答えください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①売上減少	14	14	11	9	10	58	60%
②資金繰り悪化	2	4	2	3	3	14	15%
③雇用問題	9	3	9	5	6	32	33%
④仕入価格上昇	14	7	13	13	11	58	60%
⑤店舗等の休業		1	3	3	2	9	9%
⑥取引先の休業や廃業		3	3	1		7	7%
⑦製品等の配送・納期の遅れ	5	4	1	1		11	11%
⑧原材料・商品仕入の遅れ	4	3	4	2	1	14	15%
⑨デジタル化の遅れ		1	1	3	2	7	7%
⑩事業承継	3	2	2	2	1	10	10%
⑪その他		1			1	2	2%

現在直面している経営上の問題点

- ①売上減少
- ②資金繰り悪化
- ③雇用問題
- ④仕入価格上昇
- ⑤店舗等の休業
- ⑥取引先の休業や廃業
- ⑦製品等の配送・納期の遅れ
- ⑧原材料・商品仕入の遅れ
- ⑨デジタル化の遅れ
- ⑩事業承継
- ⑪その他



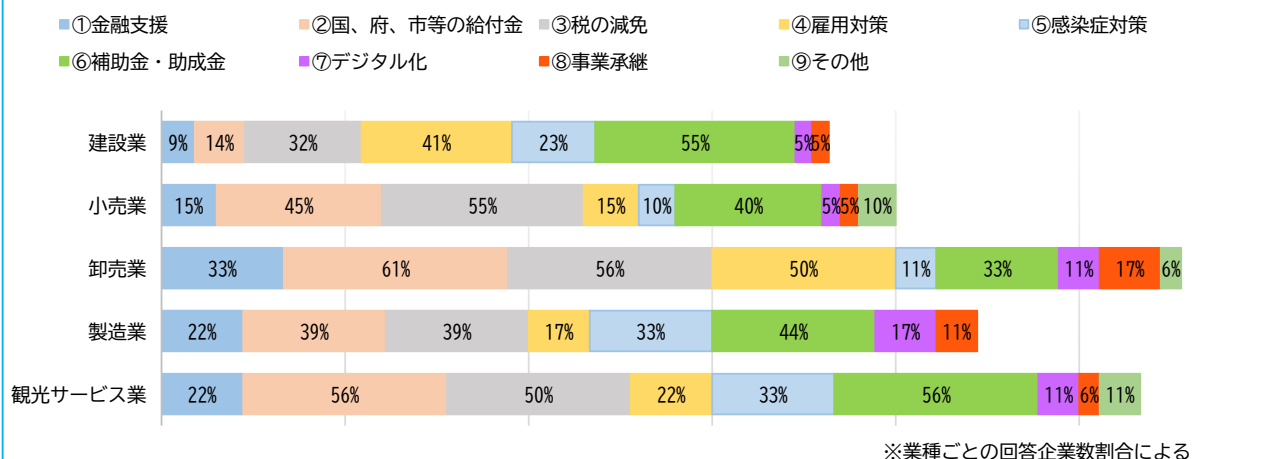
※業種ごとの回答企業数割合による

* その他 《小売業》流通コストの負担増 ・ キャッシュレス決済の手数料負担
《観光サービス業》先行きの不安（コロナ）

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①金融支援	2	3	6	4	4	19	20%
②国、府、市等の給付金	3	9	11	7	10	40	42%
③税の減免	7	11	10	7	9	44	46%
④雇用対策	9	3	9	3	4	28	29%
⑤感染症対策	5	2	2	6	6	21	22%
⑥補助金・助成金	12	8	6	8	10	44	46%
⑦デジタル化	1	1	2	3	2	9	9%
⑧事業承継	1	1	3	2	1	8	8%
⑨その他		2	1		2	5	5%

今後、求められる施策や支援策



*その他 《建設業》ブルーカラーの積算上の労務単価向上 ・ 3次下請けの禁止、丸投げの禁止
 《小売業》特典付き商品券、クーポン券の発行 ・ タバコ販売機改作のため、新500円、新1,000円札、
 タスポが使えなくなるため ・ 今後の宮津市の応援などに期待します
 《卸売業》早く従来の方針を通常に戻してほしい
 《観光サービス業》飲食業の取引先への支援拡充
 宮津市のクーポン券(京都府のクーポン、GOTO Eat券は種類が多く手続きが難)

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。